

令和8年
2026年

4月1日
水曜日

第11921号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
☎101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
☎550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
☎812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



CONTENTS

▶ 主要3カテゴリーが増加—2月分の加工品生産量
..... P2

▶ 輸入再開に向け、スウェーデンのASF清浄化
に伴うリスク評価報告—農水省・家畜衛生部会
..... P2~3

▶ [食肉流通統計・2月] と畜頭数は豚1・5%
増、成牛は3・3%減 P3

▶ 「しゃぶ葉」スペイン産豚肉輸入停止で、米国
産豚肉ロスに変更 P3

▶ 【4月の相場見通し】 輸入牛内臓・素畜・国産
鶏肉・輸入鶏肉 P4

▶ [人事異動] (4月1日付) 農水省畜産局、消
費安全局 P5

▶ MLAがSMTS出展、輸出業者7社がオーギー・
ビーフ&ラムPR P6

▶ フクシマガリレイがHCJ2026とSMTS2026に
出展—社会課題の解決に向けた提案行い、新たな
価値創造 P7

▶ [資料] 食肉加工品生産数量調査報告書
(2026年2月分) P7

▶ [資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績③
..... P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]31日 P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]31日 P11

注目のヘッドライン

主要3カテゴリーが増加—2月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合は、2026年2月分の食肉加工品生産量を発表した。それによると、全体の生産量は3万6695t(前年同月比1・3%増)で増加に転じた。

...詳細はP2

[食肉流通統計・2月] と畜頭数は豚1・5%増、成牛は3・3%減

...詳細はP3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

主要3カテゴリーが増加—2月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2026年2月分の食肉加工品生産量を発表した。それによると、全体の生産量は3万6695t(前年同月比1.3%増)で増加に転じた。このうちハム類は5985t(1.3%増)、ベーコン類は6381t(0.5%増)で増加を維持、ソーセージ類は2万2852t(1.2%増)で増加に転じ、主要3品はいずれも増加した。プレス類は1477t(8.1%増)だった。

2月のハム類はメインのロースハムが4199t(0.4%増)と増加に転じ、ラックスハムが642t(7.6%増)、ボンレスハムは402t(2.2%増)、その他ハムは642t(0.6%増)と堅調に推移した。

ベーコン類は大きな割合を占めるバラベーコンが5696t(2.3%減)と減少。それ以外ではショルダーベーコンが500t(45.8%増)と大きく増加、その他ベーコンも176t(0.9%増)と増加し、全体としても増加した。

ソーセージ類は中心となるウインナーソーセージが1万7943t(2.1%増)と伸長。フランクフルトソー

セージが1974t(5.2%減)と減少したが、ポロニアソーセージは1085t(6.0%増)と増加に転じた。オールポークソーセージは1万4098t(3.9%増)と微減だった前月から増加に転じた。

プレス類では引き続きプレスハムが214t(4.9%減)、チョップドハムは1263t(10.7%増)で増減が分かれた。

[2026年2月の加工品生産量]

(単位:t,%)

銘柄	生産数量	前年同月比	2026年累計	前年同期比
ロースハム	4,198.7	100.4	8,329.9	99.7
ボンレスハム	402.2	102.2	794.6	99.3
ラックスハム	641.7	107.6	1,352.6	110.7
その他ハム	642.1	100.6	1,314.8	102.4
ハム類計	5,984.6	101.3	11,985.8	100.9
チョップドハム	1,263.3	110.7	2,460.4	110.2
プレス類計	1,477.4	108.1	2,936.6	107.9
ベーコン	5,695.8	97.7	11,075.5	96.0
ショルダーベーコン	499.5	145.8	904.3	131.8
ベーコン類計	6,380.5	100.5	12,345.5	98.3
ウインナーソーセージ	17,942.7	102.1	34,705.4	100.7
フランクフルトソーセージ	1,973.5	94.8	3,882.0	92.0
リオナソーセージ	359.1	104.2	716.1	103.5
ポロニアソーセージ	1,084.7	106.0	2,091.5	100.0
無塩漬ソーセージ	720.8	98.6	1,471.5	99.5
その他ソーセージ	276.0	78.9	514.0	74.7
ソーセージ類計	22,852.4	101.2	44,344.0	99.5
ポークソーセージ	14,098.3	103.9	26,923.6	101.9
総合計	36,694.9	101.3	71,611.9	99.8
ハンバーグ類	1,657.8	105.1	3,253.9	99.0
やき豚	1,401.2	100.0	2,857.1	101.2
その他	3,313.5	97.5	6,613.8	97.6

輸入再開に向け、スウェーデンのASF 清浄化に伴うリスク評価報告 —農水省・家畜衛生部会

農水省が3月27日に開催した、第78回家畜衛生部会では、スウェーデンのアフリカ豚熱 (ASF) 清浄性回復に伴う輸入再開に関わるリスク評価について報告された。

スウェーデンからの生きた豚および豚由来製品に

ついては、2023年9月の同国での野生猪におけるASF発生に伴い、輸入一時停止措置を講じている。24年9月、ASF清浄化に伴い、輸入再開要請を受け、輸入停止措置を解除した場合の日本へのASFの侵入リスクについて定性的評価を実施した。

スウェーデンが発生直後から法令に基づき、感染区域(約1千km²)の迅速な設定を行っていること、また野生猪について、中心130km²のエリアをフェンスで囲い、これを制限区域Ⅱとし、物理的隔離、死体の徹底的な探索、焼却、制限区域Ⅱ内の全頭殺駆除、制限区域Ⅰ(全体規模600km²)の管理捕獲など、強力な封じ込め措置を一貫して講じた。これらの対策は感染伝ばリスクを早期に抑制する上で有効に機能したと評価される。スウェーデンは、24年9月25日に制限区域解除がEUにより承認され、9月30日にWOAHに

よってASF自己清浄化宣言が承認された。

これらを踏まえ、ASF発生の早期検知や感受性動物への侵入防止に向けた取り組みが引き続き維持・徹底される限り、スウェーデンをASFの清浄国として再認定し、同国からの生きた豚および豚肉製品の輸入を再開しても、ASFがわが国へ侵入するリスクは無視できると考えられると報告された。

今後、相手国との協議を経て、輸入を再開する見通しだ。

【食肉流通統計・2月】と畜頭数は豚1・5%増、成牛は3・3%減

農水省統計部が発表した2月の食肉流通統計によると、全国の豚と畜頭数は130万9123頭(前年同月比1・5%増)と増加した。枝肉生産量は10万5646t

(1・9%増)となった。豚卸売価格(省令)は603円(2・3%安)で、東京は629円(0・8%安)、大阪は573円(1・2%安)だった。

一方、成牛と畜頭数は7万9584頭(3・3%減)と減少し、このうち和牛は計3万8984頭(2・2%減)、乳牛は計2万772頭(7・7%減)、交雑牛は計1万9771頭(0・4%減)となった。成牛の枝肉生産量は3万7043t(1・5%減)と前年を下回った。

全国と畜頭数、枝肉生産量

区分		と畜頭数(頭)		枝肉生産量(t)		前年比%	
		と畜頭数	前年比%	枝肉生産量	前年比%		
豚		1,309,123	101.5	105,646	101.9		
成牛計		79,584	96.7	37,043	98.5		
和牛	和牛計	38,984	97.8	18,896	100.0		
	雌	19,262	99.2	8,518	103.1		
	去勢	19,686	96.3	10,369	97.7		
	雄	36	327.3	10	171.9		
乳牛	*乳牛計	20,772	92.3	7,748	93.2		
	雌	12,552	93.0	4,128	95.9		
	去勢	8,191	91.2	3,609	90.2		
	雄	29	100.0	10	146.5		
交雑牛	交雑牛計	19,771	99.6	10,378	100.0		
	雌	9,359	99.7	4,615	100.8		
	去勢	10,402	99.4	5,760	99.3		
	雄	10	333.3	3.7	217.6		
その他の牛計		57	132.6	21	99.1		
その他の牛雌		32	228.6	10	153.2		
その他の牛去勢		17	77.3	8	67.5		
その他の牛雄		8	114.3	4	116.7		
子牛		331	84.0	27	79.9		
馬		667	101.4	282	99.0		

*22年1月分調査より「乳牛」は乳用種の牛、「交雑牛」は乳牛と和牛、乳牛と外国種の交雑種として分離した。

枝肉の卸売価格

区分	単位:1キロ当たり円、%				
	東京市場		大阪市場		
	価格	前年同月比	価格	前年同月比	
和牛去勢	A5	2,561	99.1	2,595	100.7
	A4	2,341	102.2	2,208	100.3
	A3	2,197	103.6	2,081	108.9
	A2	1,763	96.9	-	-
交雑種去勢	B3	1,619	105.9	1,588	98.5
	B2	1,527	110.7	1,427	98.1
乳牛去勢	B3	-	-	-	-
	B2	1,289	116.2	1,297	116.2

豚の枝肉取引頭数及び卸売価格(極上・上規格)

区分	頭数	前年同月比	価格	前年同月比
主要卸市場計	73,756	99.5	603	97.7
うち東京	5,366	86.4	629	99.2
大阪	483	117.5	573	98.8

「しゃぶ葉」スペイン産豚肉輸入停止で、米国産豚ロースに変更

すかいらーくレストランズ(東京都武蔵野市)が運営する「しゃぶ葉」は3月31日、スペイン産豚肉の輸入一時停止に伴う豚肉メニューの内容変更を発表した。品質を維持した豚バラの安定供給が困難になっ

たことから、全コースの豚バラの使用を休止し、米国産の豚ロースで提供する。また、豚ロースに合うつけダレとして好評だった「紅生姜ダレ」を復活する。コース価格は据え置き、変更日は店舗で異なる。

【4月の相場見通し】輸入牛内臓・素畜・国産鶏肉・輸入鶏肉

【輸入牛内臓】過去最高値圏で推移、中東情勢の緊迫も影響

4月の新年度入りからGWに向け、かつてない需給の逼迫^{ひつぱく}に直面している。米国産の生産サイクルが1950年代以来、約70年ぶりの低水準に落ち込んでおり、パッカーの稼働率は低迷。とりわけ人気部位であるタンやハラミの現物確保は困難を極めている。こうした「物理的欠乏」に加え、緊迫する中東情勢が物流の急所を直撃。紅海ルートの回避による航路変更や、原油高に伴う燃油サーチャージの跳ね上がりが、チルド品の輸入コストを容赦なく押し上げている。1ドル160円に迫る円安も重なり、牛タンやハラミの卸売価格は過去最高値圏での推移が不可避だ。実需面では、行楽需要やインバウンドによる旺盛な引き合いが続くが、仕入価格の暴騰により、末端の飲食店ではメニュー改定や国産豚への代替が加速している。4月以降も「価格より現物の確保」が最優先されるタイトな相場環境が続く。

【素畜】和牛は供給減で続伸、需給逼迫の乳牛は上げ

【和子牛】3月23日公表の市場成績（全農、速報）は全国平均（税込み、雌・去勢）が2月終値から2万8千円高の84万4千円と続伸した。上場頭数の少なさに加え、最盛期の年末出荷に向けた肥育業者の導入意欲も継続的に高く、全面高の展開となった。雌が2万1千円高の77万6千円、去勢は2万9千円高の89万6千円と共に続伸。2月に比べ伸び幅はやや鈍化した。上値を迫る勢いは衰えていない。同日までに取引を終えた45市場全てが2月水準を上回った。

和子牛は、4月も品薄による強気配との見方が大勢で「下げ材料はほぼ見当たらない」（関係者）。3月に続き年末出荷用の手当て買いも需要を下支えし、逼迫感は継続するか。全国平均は去勢で90万円超え、雌は77～79万円台とみる。

【乳子牛】3月はインバウンド需要などで引き合いが強まる中、供給量が限定的で円安による輸入牛肉の代替により、乳牛去勢枝肉相場は強含みの展開となった。素牛価格については、上場頭数

の増加および発育不良牛もみられたことから、2月価格から下げた。北海道主要7市場における初生ホル雄の取引概況は、乳雄出生頭数の減少が続いており、1開催当たりの上場頭数が減少したことにより、上げで推移。4月は行楽シーズンに向けた外食需要が期待される中、物価高の影響から消費者の節約志向が強まる。乳牛は輸入牛肉の代替需要として引き合いが強まることから想定されることから上げの展開で推移すると思われる。

素牛価格については需給バランスが損われており、上げで推移するとみられる。北海道主要市場における初生ホル雄は上場頭数が減少すると思われる。高値の展開が見込まれる。交雑種は雌45万円前後、去勢51万円前後の展開が予想される。

【国産鶏肉】モモはジリ高の展開、生産コストの上昇が主因に、ムネも需要堅調で高値

政府の補助金でガソリン価格は下がるが、もろもろの値上げが続く。消費者の生活防衛意識が強まることで他の畜肉よりも安価な鶏肉を選択する機会は例年になく増える。

例年であれば、気温の上昇に伴い鍋物、煮物用途での需要はやや鈍る時期ではあるが、今年は節約志向の高まりに加え、生産コストの高止まりも影響し、生鮮モモについて年末年始よりも、2～3月と春めくに連れ、値を上げている格好。

4月もおおむねもちあいで、日経荷重平均の東京相場で830円前後の高値での展開が予想される。生鮮ムネは涼味商材としての需要が高まり堅調な値動き。冷凍モモは輸入物の高騰の影響から770円前後の高値圏で推移する。

【輸入鶏肉】輸入価格高め、在庫はタイト

ブラジル産、タイ産共に輸入量はおおむね前年並みに回復しているが、現地価格も高いことから輸入価格も高い。年度初め、春の行楽といった需要期であることから国内在庫の逼迫感と相場高は続く。モモ正肉で770円前後、カット物で815円前後の高値が予想される。中東情勢などの影響から景気の状態は予断を許さないが、価格の優位性もあり、外食、中食共に輸入鶏肉の需要はおおむね堅調に推移する。

【人事異動】(4月1日付) 農水省畜産局、消費安全局

【畜産局関連】近畿農政局次長(畜産局畜産振興課長) 富澤宗高▷畜産局畜産振興課長(畜産局食肉鶏卵課食肉需給対策室長) 上田泰史▷農林水産技術会議事務局研究調整官兼畜産局畜産振興課付(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門畜産飼料作研究領域飼料作物育種グループ上級研究員) 川地太兵▷畜産局牛乳乳製品課牛乳乳製品需給対策室長(大臣官房政策課調査官兼畜産局総務課付) 大竹匡巳▷畜産局食肉鶏卵課食肉需給対策室長(畜産局牛乳乳製品課牛乳乳製品需給対策室長) 中坪康史▷中国四国農政局生産部長(畜産局畜産振興課畜産生産情報分析官兼畜産局企画課付) 新納正之▷大臣官房政策課調査官兼畜産局総務課付(畜産局総務課課長補佐) 林康之

畜産局総務課課長補佐(総括班担当)(畜産局畜産振興課課長補佐(総括及び総務班担当)) 伴光▷畜産局総務課課長補佐(調整班担当)(畜産局総務課デジタル実装専門官) 山本将平▷畜産局企画課経営安定班経営安定第2係長兼大臣官房政策課付(輸出・国際局輸出支援課海外規制対応企画班海外規制対応調整係長兼大臣官房政策課付) 伊藤愛真▷畜産局畜産振興課課長補佐(家畜遺伝資源管理推進班担当) 兼大臣官房秘書課付(畜産局畜産振興課課長補佐(家畜遺伝資源管理推進班担当)) 露木麻衣▷畜産局総務課総括班法令係長(大臣官房秘書課企画第2班採用・研修第3係長兼大臣官房秘書課付) 西口裕貴▷畜産局企画課経営安定班経営安定第1係長(大臣官房政策課) 鈴木雅子▷畜産局畜産振興課付(畜産局畜産振興課企画班家畜改良企画係長) 小川俊▷畜産局飼料課(大臣官房予算課) 泉雅斗▷畜産局牛乳乳製品課乳業班乳業係長(大臣官房環境バイオマス政策課保全対策班生物多様性利用企画・調整係長) 大城毅▷畜産局競馬監督課(大臣官房秘書課) 大口祐希

【消費・安全局関連】消費・安全局畜水産安全管理課長(内閣府食品安全委員会事務局評価第二課長) 古田暁人▷消費・安全局消費者行政・食育課米穀流通・食品表示監視室長(消費・安全局消費者行政・食育課監視特別専門官) 越智文明▷消費・安全

局植物防疫課防疫対策室長(横浜植物防疫所羽田空港支所長) 白石正美▷動物検疫所長(消費・安全局畜水産安全管理課長) 星野和久▷九州農政局地方参事官(福岡県担当)(消費・安全局植物防疫課課長補佐) 中西靖裕▷消費・安全局消費者行政・食育課監視専門官(消費・安全局消費者行政・食育課米穀流通・食品表示監視室長) 綾戸隆英▷消費・安全局総務課付内閣府出向(食品安全委員会事務局評価第二課長へ)(動物検疫所羽田空港支所長) 國保直子▷消費・安全局総務課付兼消費者庁出向(消費者安全課企画官へ)((独)行政法人農林水産消費安全技術センター横浜事務所長) 荒木智行▷消費・安全局総務課付兼(独)農林水産消費安全技術センター出向(神戸センター所長へ)(消費者庁消費者安全課企画官) 畑山貴弘

消費・安全局食品安全政策課課長補佐(化学物質管理班担当)(消費・安全局農産安全管理課課長補佐(農薬企画班担当)) 山原洋佑▷消費・安全局植物防疫課課長補佐(国内防除第2班担当兼大臣官房秘書課付兼大臣官房政策課付)(消費・安全局植物防疫課総合防除推進専門官兼大臣官房秘書課付兼大臣官房政策課付) 藤井達也▷消費・安全局総務課総務・会計専門官(大臣官房政策課技術企画専門官兼農林水産技術会議事務局研究調整課付) 赤池貴寛▷消費・安全局総務課課長補佐(総務班担当)(大臣官房秘書課課長補佐(共済給付班担当)) 戸部亮光▷消費・安全局総務課会計班予算第1係長(大臣官房予算課予算編成第1班予算編成第5係長) 真島和也▷消費・安全局食品安全政策課(大臣官房秘書課) 金岡凌▷消費・安全局総務課課長補佐(総務班担当)(大臣官房秘書課課長補佐(共済給付班担当)) 戸部亮光▷消費・安全局総務課会計班予算第1係長(大臣官房予算課予算編成第1班予算編成第5係長) 真島和也▷消費・安全局食品安全政策課大臣官房秘書課(大臣官房秘書課) 金岡凌▷消費・安全局畜水産安全管理課(生産安全班企画係)(林野庁林政部林政課(総務班総務係)) 高山実女▷消費・安全局畜水産安全管理課水産防疫班国際防疫係長(水産庁増殖推進部研究指導課) 野村比呂人

MLA が SMTS 出展、輸出業者 7 社がオージー・ビーフ & ラム PR 会期中は大阪に続き東京でも「MLA グランドセミナー 2026」を開催

MLA (ミートアンドライブストックオーストラリア) はこのほど、千葉市の幕張メッセで開催された「スーパーマーケット・トレードショー2026」に出展。オージー・ビーフ&ラムのブースでは、豪州輸出業者7社 (Teys Australia、Minerva Foods、Fletcher International Exports、Hewitt、Kilcoy Global Foods、Stockyard、Midfield International) が一堂に会し、各ブースでグラスフェッドビーフ、グレインフェッドビーフ、オーガニックビーフ、ラム、加工品などの幅広い商品群を紹介。また、豪州食肉業界における持続可能な取り組みや試食提供、今後のマーケティング活動も案内した(上写真)。MLAブースではオージービーフ&ラムの試食提供も行われ、連日大盛況となった。

会期初日には大阪に続き、東京(ホテルニューオータニ幕張)で「MLAグランドセミナー2026」を開催。トラヴィス・ブラウン駐日代表(下写真)は「日本は豪州の最重要パートナーであり、その関係は半世紀以上にわたり築かれ、信頼、一貫性、共通の高い価値基準によって支えられてきた。2025年は豪州産食肉全体の輸出額、対日輸出額共に過去最高を記録。皆さまとのパートナーシップは成功の礎であり、今後も需要増加や価値向上に取り組み、日本の食肉市場全体の発展を目指す」と強調した。

続いて北野秀一トレードアンドインサイツシニアマネージャーが豪州産食肉の生産概況について説明。牛肉の生産頭数は安定しており、生産量は過去最高を更新。また平均枝肉重量増加により、生産性も向上している。豪州では、政府と食肉業界によるトレーサビリティシステムを構築。安全性を担保し、生産者へ品質をフィードバック可能だ。また、23年の温室効果ガス排出量は05年比70・2%削減している。ラムの対日輸出量は他国と比較して多くはないが、日本国内の消費は年々増加。MLAでは、15年からラムバサダープロジェクトを始動。業界や一般消費者向けのイベントを行い、活動の幅を広げている。

ダイ・ウェンジン ブランドアンドマーケティングコミュニケーションマネージャーは消費者向けマーケティング調査結果とプロモーション活動を紹介。オ



ージービーフは「味」「品質」「栄養価」において高く評価され、輸入牛肉でトップレベルの認知度を持つ。MLAでは昨年、大阪・関西万博に出展した他、SNSなどを活用したメディア向けプロモーションに取り組んだ。「父の日はビーフ」というコンセプトの下、キャンペーンを実施し、全国で1300店舗が参加。今年は外食などを含めてチャネルを広げ、オージービーフのみならず牛肉消費拡大を図る。ラムでは東京、大阪、北海道に加え、ラムを食べる習慣が少ない中国地方でも消費者イベントを行う。



その後、オージービーフマイトとラムバサダーが登場。セカンダリーカットやトレンドをテーマにディスカッションを行った(中央写真)。「価格が上昇する中、セカンダリーカットを活用したメニューをいかにメインディッシュとして提供できるかが重要」「家庭料理では、牛肉の切り落としや小間を使う傾向が強い。消費者に寄り添ったレシピを提案していきたい」「コース料理の一つを煮込み料理にするほか、盛り付けの見せ方で価値を高めることでセカンダリーカットの活用を進めている」などの意見が上がった。

フクシマガリレイが HCJ2026 と SMTS2026 に出展 社会課題の解決に向けた提案行い、新たな価値創造

フクシマガリレイ(株)はこのほど、東京ビッグサイトで開催された第26回厨房設備機器展 (HCJ2026)に出展した。「食の未来は、GALILEIと。」をテーマに、地球温暖化や人手不足などの社会課題に対する解決策を提案。省人化に有効なブラストチラー、ショックフリーザーのコンパクトタイプや、物流問題に有効な屋外用冷凍庫など、未来の食の現場を支える最新機器を紹介した。同社を代表する商品はニーズに合わせた規格サイズを展示。ノンフロン冷媒を採用した商品の展開も勧めており、「ノンフロン採用ステップ運転機能付解凍庫」は、高温度解凍、低温度解凍の2段階に分けて解凍することで品質劣化を防止し、短時間での解凍を実現。物流、運送業界の人手不足対策として、屋外用業務冷蔵庫・冷凍庫を展開。営業時間外の無人での荷受け、商品のストック保管、屋外イベントや屋外店舗での設置を提案している。

このほかブース内には、調理実演コーナー「食の未来×冷却調理」を設置。ゲストシェフを招き、現場で活用できる冷凍テクニックやプラントベースを使ったメニューなど、同社の機器(ブラストチラーやショックフリーザー)を実際に使ってデモンストレーションを行った(上写真)

また、ガリレイグループでは、日本全国に9カ所、東南アジア3カ所にショールームを構え、冷却、凍結、解凍テストやメニュー開発、セミナーや講習会の会場として運用。大阪本社「MILAB」ではテストキッチンなどの他、食品検査、分析も行っており、展示会ではその一部が紹介され、来場者は味覚分析や官能評価を体験した。

さらに幕張メッセで開催された「スーパーマーケット・トレードショー2026」に出展。「ガリレイが魅せるCOOLなミライ」をテーマに、省スペースかつ、さらなる省エネ化に向けた新しいショーケースを多数紹介。社会課題解決に向け、新たな価値を創造していくことを示した。

省エネの提案として、同社ブランドのCLAIR外装そのままに扉を付けたショーケースや、扉を上下分割することで扉開閉時の冷氣漏れを低減できるリーチインショーケースを展示。また、狭小店舗でも使え



て陳列量も確保できる中島ラウンドケースや、両面から商品が取れるリーチインショーケースなどを紹介。災害時や停電時にもバッテリーで電気を供給できるBCP対応ショーケースも展示した。加えて昨年開催された万博に展示していたCO₂冷媒採用冷凍機内蔵型扉付きアイランドショーケース、パビリオンの様子なども紹介した。

さらにグループ会社の日本洗浄機から新たに発売される食器洗浄機アンダーカウンタータイプと長尺トレイの洗浄に適した大型器具洗浄機、同じくグループ会社のガリレイパネルクリエイトの断熱パネルを使用したプレハブ冷蔵庫とドイツメーカーのブルグマン製 Gondola を組み合わせたウォークイン冷蔵庫も実機展示され、注目を集めた。

そのほか、冷却不良に直結する冷媒ガス漏れに特化したメンテナンス契約「冷媒ガス漏れ10年保証メンテナンス契約(GX契約)」を提案。設備の稼働状況を常時監視する「スマート診断」機能が含まれ、設備の温度変化やわずかな異常の予兆をリアルタイムで察知。迅速な点検・修理に対応することが可能だ。

[資料] 食肉加工品生産数量調査報告書 (2026年2月分)

(単位:t,%)

	銘柄	生産数量	前年同月比	2026年累計	前年同期比
ハム類	ロースハム	4,198.7	100.4	8,329.9	99.7
	ボンレスハム	402.2	102.2	794.6	99.3
	骨付きハム	4.0	78.4	8.7	97.8
	ラックスハム	641.7	107.6	1,352.6	110.7
	ベリーハム	1.8	75.0	3.3	73.3
	ショルダーハム	94.1	102.3	181.9	88.1
	その他ハム	642.1	100.6	1,314.8	102.4
	小 計	5,984.6	101.3	11,985.8	100.9
ベーコン類	ベーコン	5,695.8	97.7	11,075.5	96.0
	ロースベーコン	9.6	3,200.0	16.9	2,112.5
	ショルダーベーコン	499.5	145.8	904.3	131.8
	その他ベーコン	175.6	100.9	348.8	103.7
	小 計	6,380.5	100.5	12,345.5	98.3
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	17,942.7	102.1	34,705.4	100.7
	フランクフルトソーセージ	1,973.5	94.8	3,882.0	92.0
	リオナソーセージ	359.1	104.2	716.1	103.5
	ポロニアソーセージ	1,084.7	106.0	2,091.5	100.0
	ドライソーセージ	455.3	99.0	899.9	102.1
	セミドライソーセージ	25.1	160.9	42.3	114.9
	レバーソーセージ	5.2	130.0	7.0	116.7
	レバーペースト	0.8	88.9	1.6	94.1
	加圧加熱ソーセージ	7.2	313.0	8.3	212.8
	無塩漬ソーセージ	720.8	98.6	1,471.5	99.5
	混合ソーセージ	1.1	220.0	2.3	255.6
	加圧加熱混合ソーセージ	0.9	150.0	2.1	190.9
	その他ソーセージ	276.0	78.9	514.0	74.7
	小 計	22,852.4	101.2	44,344.0	99.5
プレスハム類	プレスハム	214.1	95.1	476.2	97.4
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,263.3	110.7	2,460.4	110.2
	小 計	1,477.4	108.1	2,936.6	107.9
合 計		36,694.9	101.3	71,611.9	99.8
ポークソーセージ		14,098.3	103.9	26,923.6	101.9
サラミソーセージ		74.5	102.2	142.9	105.0
ハンバーグ類		1,657.8	105.1	3,253.9	99.0
焼き豚		1,401.2	100.0	2,857.1	101.2
その他		3,313.5	97.5	6,613.8	97.6

- 注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。
 2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。
 3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」 (公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

[資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績③

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
TOTAL	990 KG		211426	57833	313927	89439
(E. U)	991 KG		47729	13728	101749	30110
0203. 29-025 その他の豚の肉(いのししのもの以外のもの)で課税 価格が1kgにつき、部分肉に係る従量税適用限度価格 (関税暫定措置法別表第1の3又は同法別表第1 の8の該当する号に定める価格)を超え、部分肉に 係る分岐点価格(関税暫定措置法別表第1の3又は 同法別表第1の8の該当する号に定める価格)以下 のもの(課税価格が1kgにつき、399円以上のも の)(冷凍したもの)						
DENMARK	204 KG		-	-	48923	25631
NETHLS	207 KG		-	-	23855	12493
BELGIUM	208 KG		460	240	460	240
SPAIN	218 KG		5964	3101	16086	8364
CANADA	302 KG		73109	38209	413892	216682
USA	304 KG		1305073	683181	2489354	1303536
BRAZIL	410 KG		1412952	737038	3114317	1628076
TOTAL	990 KG		2797558	1461769	6106887	3195022
(E. U)	991 KG		6424	3341	89324	46728
0204. 10-000 子羊の枝肉及び半丸枝肉(生鮮又は冷蔵したもの)						
FRANCE	210 KG		55	216	121	480
TOTAL	990 KG		55	216	121	480
(E. U)	991 KG		55	216	121	480
0204. 22-000 羊の骨付き肉(枝肉及び半丸枝肉以外のもの)(生鮮 のもの及び冷蔵したもの)						
IRELAND	206 KG		539	2232	1007	4239
FRANCE	210 KG		2166	9598	3505	15654
AUSTRAL	601 KG		40523	129614	90690	285293
NEWZELD	606 KG		40981	148084	66822	219172
TOTAL	990 KG		84209	289528	162024	524358
(E. U)	991 KG		2705	11830	4512	19893
0204. 23-000 羊の肉(骨付きでないもの)(生鮮のもの及び冷蔵し たもの)						
AUSTRAL	601 KG		403829	836531	867185	1805093
NEWZELD	606 KG		80456	155492	199296	381812
TOTAL	990 KG		484285	992023	1066481	2186905
0204. 30-000 子羊の枝肉及び半丸枝肉(冷凍したもの)						
ICELAND	201 KG		18575	34491	18575	34491
AUSTRAL	601 KG		19028	21215	19028	21215
TOTAL	990 KG		37603	55706	37603	55706
0204. 41-000 羊(子羊のものを除く。)の枝肉及び半丸枝肉(冷凍 したもの)						
NEWZELD	606 KG		126517	98511	197321	153298
TOTAL	990 KG		126517	98511	197321	153298
0204. 42-000 羊の骨付き肉(枝肉及び半丸枝肉以外のもの)(冷凍 したもの)						
ICELAND	201 KG		28535	30798	28535	30798
AUSTRAL	601 KG		215297	209877	407753	424102
NEWZELD	606 KG		132623	132827	407014	411798
TOTAL	990 KG		376455	373502	843302	866698
0204. 43-000 羊の肉(骨付きでないもの)(冷凍したもの)						
ICELAND	201 KG		4882	11778	4882	11778
AUSTRAL	601 KG		522828	818099	1503433	2408990
NEWZELD	606 KG		93235	166568	177361	303527
TOTAL	990 KG		620945	996445	1685676	2724295
0204. 50-000 やぎの肉(生鮮のもの及び冷蔵し又は冷凍したも の)						
AUSTRAL	601 KG		110613	107787	132616	128842
TOTAL	990 KG		110613	107787	132616	128842
0205. 00-000 馬、ろ馬、ら馬又はヒニーの肉(生鮮のもの及び冷 蔵し又は冷凍したもの)						
CHINA	105 KG		26257	63223	63508	151321
POLAND	223 KG		-	-	23147	17041
CANADA	302 KG		24029	52396	64911	132147

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
MEXICO	305 KG		6764	11300	18366	25677
BRAZIL	410 KG		74938	68400	130938	118071
URUGUAY	412 KG		19808	27374	115086	139170
ARGENT	413 KG		72185	63352	118658	123937
TOTAL	990 KG		223981	286045	534614	707364
(E. U)	991 KG		-	-	23147	17041
0206. 10-011 牛の食用の舌(生鮮のもの及び冷蔵したもの)						
CANADA	302 KG		120295	377430	246206	775069
USA	304 KG		1065616	3711683	2184921	7589887
MEXICO	305 KG		540	1203	1246	2790
AUSTRAL	601 KG		226092	620652	507714	1394393
NEWZELD	606 KG		5615	17027	14460	38716
TOTAL	990 KG		1418158	4727995	2954547	9800855
0206. 10-019 牛の食用の臓器(舌を除く。)(生鮮のもの及び冷蔵 したもの)						
IRELAND	206 KG		229	716	660	2088
CANADA	302 KG		311138	699195	668577	1495723
USA	304 KG		1091971	2574827	2186774	5156794
MEXICO	305 KG		1066	1901	4232	7520
AUSTRAL	601 KG		401250	747152	924293	1713420
NEWZELD	606 KG		12701	22725	42678	66416
TOTAL	990 KG		1818355	4046516	3827214	8441961
(E. U)	991 KG		229	716	660	2088
0206. 10-020 牛の食用のほほ肉及び頭肉(生鮮のもの及び冷蔵し たもの)						
AUSTRAL	601 KG		586	1168	970	1934
NEWZELD	606 KG		152	270	739	1315
TOTAL	990 KG		738	1438	1709	3249
0206. 21-000 牛の食用の舌(冷凍したもの)						
SWEDEN	203 KG		24000	42686	48094	84164
DENMARK	204 KG		43391	75201	91298	158502
U KING	205 KG		63563	123167	206468	394729
IRELAND	206 KG		54352	97817	161078	304935
FRANCE	210 KG		3910	7278	62040	108654
GERMANY	213 KG		-	-	12	203
SPAIN	218 KG		52113	93454	125564	230370
ITALY	220 KG		54047	96869	112229	236599
FINLAND	222 KG		22363	35874	46337	69893
POLAND	223 KG		80321	149442	231466	430663
AUSTRIA	225 KG		14059	26742	51623	86601
LITHUAN	237 KG		-	-	18601	29802
CANADA	302 KG		78984	167810	174479	370205
USA	304 KG		280711	532299	608430	1180770
MEXICO	305 KG		12569	20063	62174	97793
NICARAG	310 KG		1495	2268	6736	10443
PANAMA	312 KG		3682	9914	11406	32097
CHILE	409 KG		25256	46052	49815	84497
URUGUAY	412 KG		153859	273051	315413	552570
ARGENT	413 KG		495	791	495	791
AUSTRAL	601 KG		361037	645081	1331571	2179897
NEWZELD	606 KG		101385	177522	237030	403889
TOTAL	990 KG		1431592	2623381	3952359	7048067
(E. U)	991 KG		348556	625363	948342	1740386
0206. 22-000 牛の食用の肝臓(冷凍したもの)						
USA	304 KG		4392	1564	70695	28053
MEXICO	305 KG		-	-	19004	7274
AUSTRAL	601 KG		-	-	62072	18716
TOTAL	990 KG		4392	1564	151771	54043
0206. 29-010 牛の食用の臓器(肝臓以外のもの)(冷凍したもの)						
DENMARK	204 KG		3520	3457	3520	3457
FRANCE	210 KG		1401	2428	1401	2428
SPAIN	218 KG		23531	35802	30627	46603
ITALY	220 KG		726	1074	726	1074
POLAND	223 KG		4394	5726	4394	5726
LITHUAN	237 KG		-	-	5549	5927
CANADA	302 KG		79702	153956	105758	221865
USA	304 KG		107120	207202	176232	339799
MEXICO	305 KG		36457	40042	120869	139502
NICARAG	310 KG		-	-	1775	628
PANAMA	312 KG		625	336	2055	1118
CHILE	409 KG		1998	1545	3740	2787

(続く)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月31日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	2,917	2,563	2,430	-	-
		安値	2,466	2,446	2,339	-	-
		平均	2,668	2,510	2,392	2,094	-
		頭数	41	11	4	1	-
	57頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
-頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
去 A	高値	3,243	2,538	2,373	-	-	
	安値	2,434	2,376	2,334	-	-	
	平均	2,701	2,464	2,355	-	-	
	頭数	54	17	4	-	-	
75頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
-頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,837	1,744	1,709	1,683	-
		頭数	1	10	12	5	-
	雌 C	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 B	平均	1,818	1,748	1,721	1,662	-
		頭数	2	11	23	2	-
	去 C	平均	-	1,512	1,668	1,624	-
		頭数	-	1	2	1	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	401 291	840 981	- 73.5	(競り)	(相対)	
				-	14	36

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,623	2,108	1,794	1,689	-
	B	-	-	1,722	1,331	1,215
和 去	A	2,831	2,445	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,081
	C	-	-	-	-	1,053
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	897	918	939	906	705
	安値	741	696	670	443	378
	平均	775	740	715	686	481
	頭数	(11)	(317)	(348)	(199)	(106)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	510
	安値	-	-	-	-	486
	平均	-	-	-	-	509
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(14)

[大阪食肉卸売市場] 3月31日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,781 (8)	2,484 (7)	- (-)	- (-)	- (-)
B	- (-)	2,413 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
和 去 A	2,699 (5)	2,501 (2)	- (-)	- (-)	- (-)
B	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,783	1,706	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	-	1,787	-	-
C	-	-	1,747	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	3月31日	3月30日	(3月累計)
豚	62,900	65,000	1,380,100
成牛計	3,760	3,980	87,090
和牛雌	750	820	19,770
和牛去勢	1,220	980	22,420
乳牛雌	790	480	13,940
乳牛去勢	400	470	9,030
交雑雌	290	610	11,160
交雑去	300	620	10,740

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 3月31日

東京	1,691 円	(前日 1,667 円)
大阪	1,789 円	(前日 1,751 円)

[豚・全農建値] 3月31日

上	中	取引頭数	市況
736 円	717 円	1,063 頭	急伸

と畜 売買	牛 26 頭 牛 31 頭	豚 79 頭 豚 - 頭	牛概況 豚概況	もちあい -
----------	------------------	-----------------	------------	-----------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月31日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	670 (670)	- (-)	5,980	-	もちあい
仙台 [中]	679 (659)	650 (628)	384	74	反発
栃木 [地]	- (697)	- (620)	-	-	休市
茨城 [地]	722 (702)	693 (686)	1,357	443	反発
群馬 [地]	751 (731)	652 (635)	2,020	243	急伸
さいたま [中]	751 (727)	744 (719)	168	172	反発
東京 [中]	740 (717)	715 (694)	840	981	急伸
横浜 [中]	719 (714)	694 (686)	655	650	続伸
山梨 [地]	721 (-)	700 (-)	149	102	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	702 (703)	669 (669)	953	226	弱もちあい
京都 [中]	727 (701)	724 (682)	66	102	もちあい
大阪 [中]	- (722)	- (708)	79	-	上場なし
神戸 [中]	731 (-)	728 (-)	-	131	-
岡山 [地]	683 (687)	675 (683)	335	263	もちあい
広島 [中]	699 (684)	666 (646)	339	49	反発
福岡 [中]	670 (677)	630 (634)	589	175	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 3月24日～3月30日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,695,091 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,150	1,201	1,240	1,203	80,344
うで	756	808	896	809	123,451
ロース	1,080	1,173	1,250	1,177	137,223
ばら	1,179	1,248	1,328	1,252	156,106
もも	797	829	864	826	165,454
ヒレ	1,080	1,186	1,323	1,219	10,237
セット	1,030	1,069	1,086	1,068	1,022,276

◇近畿圏 総重量 687,186 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,218	1,350	1,381	1,318	50,858
うで	743	755	810	758	120,699
ロース	1,110	1,220	1,252	1,210	91,657
ばら	1,259	1,318	1,351	1,312	124,795
もも	753	772	826	780	149,214
ヒレ	1,134	1,214	1,296	1,224	11,223
セット	999	1,054	1,143	1,061	138,740

[食鳥正肉日経相場] 3月30日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	784	838	1,006	169
ムネ	447	501	652	163

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	745	841	1,050	2
ムネ	450	518	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月30日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,020	680	550	600	650
安値	798	460	290	360	350
平均	847	517	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します